

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6 年 3 月 18 日

事業所名 もりもりの森(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善 内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2		活動がしやすいように環境設定を行っている。	雨の場合でも体を沢山動かせるようにしていきたい。
	②	職員の配置数は適切である	2	5		東京都の人員配置に沿っておこなっている。	急遽休みの職員が出た場合の配置に苦戦している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		玄関、トイレ、扉がバリアフリーになっている。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4		PDCAを意識するようにしている。	今後も職員全体に周知できるようにPDCAサイクルを伝えていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		保護者からのご意見を踏まえて、日々の業務に努めている。	今後も保護者の意向に耳を傾けていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	2	毎年保護者に協力していただいている	毎年公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		現在準備段階です。	これから行うよう進めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		様々な研修を通し知識を深めています	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		保護者との面談を重ね、個々に合った支援計画を作成している	日頃の話し合い等で共通理解を徹底している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4		面談や送迎時、子どもの様子を伝えて把握している。	アセスメントシートを使用しながら子どもの状況を職員間で共有している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		今今の療育が必要か話し合いする時間を設	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		今今の療育が必要か話し合いする時間を設けている。	児童のニーズに応えられていると思う。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			子どもたちが無理なく療育出来るように配慮している	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		個別と集団両方を大切にしている。	曜日やメンバーによって内容を考えている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7			日々、話し合いを大切にしている。	引き続き話し合う機会を多く作りたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		日々、話し合いを大切にしている。	パートドライバーを含め全員で共有できるようにしたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		記録をして情報共有をしている。	今後は正しく記録し検証、改善していきたい
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			質の良いサービスが出来るよう見直しをおこなっている	今後もしっかり行う。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			五領域を意識し支援をおこなっている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		必要に応じて連携を取っている。	これからも密に連携を取っていききたい。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			各学校や保護者と情報共有をし、ミスを最小限にするようにしている。	送迎チェックをダブルで行い、ミスがないように心がけていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	1		現在医ケア児がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		児童発達支援と情報共有し、就学する際に適切な対応ができるようにしてい	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7				
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	1	3	避難訓練や夏祭りやハロウィンなどのイベントを一緒にいき、学童と公園で一緒に遊ぶ機会を設けている。	交流が出来るように定期的に立案している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	3		参加し、情報共有を行っている。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			密にやり取りを行っている。	送迎時のメールでのやりとりや面談の機会を今後も作っていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5			保護者支援には力を入れているがペアレントトレーニングはできていない。今後、考えていきたい。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2		契約の時に説明をしている。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		力を入れています。	保護者との信頼関係をより一層深め、寄り添っていききたい。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	2	日頃の見学に力を入れているので保護者同士が見学や療育に参加し、コミュニケーションを取る事がある。	今後、保護者会を開き、職員だけではなく保護者同士のアドバイスや悩み相談が出来るようにしたい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2		必ずすぐに対応しています。	すぐに対応し、問題を解決できるようにしていきたい。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	2	日頃からソフトウェアHUGでその日の様子を伝えている。言葉だけでなく写真を添付しています。	今後も面接や見学、ソフトウェアHUGを通して悩みなど気軽に相談していただけるようアナウンスしていく。
	㉕	個人情報に十分注意している	4	3		十分に留意している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2		一人一人に合った方法で対応している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	2	元消防士の方に協力してもらい防災訓練をおこなっている	夏祭り等地域の方々にも声を掛けていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		いざという時にすぐ実践できるようなマニュアル作りを心掛けている。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		3施設合同で行っている。元消防士にも協力をいただいて	元消防士の方にも協力していただき、質の高い避難訓練をおこなっていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			職員全体で研修を行っている。	小さな出来事を見逃ごさないようにしていきたい。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		保護者と共通認識をしている。	現在、医師の指示を必要とするアレルギーのある子どもがいないが必要に応じて連携を
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1		共有し、話し合いをしている。	全体で共有し、同じことが繰り返さないよう意識していきたい。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

